



Next is you

日体魂を受け継ぐ者

2020年に向けて、
日体大から世界のすべての人々へ
スポーツの魅力と平和への願いをつないでいく。

特集 時代が変わる。日体大が動く。

- 学長メッセージ・役職者プロフィール — 1
- 新教員組織(系)の編制にあたって — 3
- 学生生活を力強くサポート!
大学事務を使いこなそう — 7
- Next is you 日体魂の聖火リレー
東妻 勇輔選手・松本 航選手(硬式野球) — 9
- スポーツ救急をひもとく
第3回〜スポーツ救急における頭部外傷 — 13
- 教職センターReport ⑥
教職センターとしてのこれから
平成30年度教員採用試験現役合格者 — 15



2020年

皆さんと共に

大輪の華を

咲かせたい！

第12代学長

具志堅 幸司

新人生のみなさん、御入学おめでとうございます。
心より歓迎いたします。

本学はこれまで「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、体育スポーツ学、教育学、保健医療学の各分野で、教育と研究、社会貢献活動を積極的に展開して参りました。皆さんはそれぞれ異なる学部・研究科において、より専門的な知識や技術を体得して



体育学部
学部長

みずの ますひこ
水野 増彦

●Profile 水野 増彦(みずの ますひこ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S58.3)／②体育学士／③日本コーチング学会、日本体育学会、日本陸上競技連盟強化委員(障害部長)、関東学生陸上競技連盟評議員、文部科学大臣賞受賞(H13/H15)、関東学生陸上競技連盟指導者功労賞(S63、H13、H15)、日本学生陸上競技連合功労賞(S63)／④在学中から今もなお陸上競技部に所属。競技中心の生活を送り、卒業後2年目の助手時代に日本選手権で優勝し競技人生において最高の時を迎えました。33年の時を経て、未だに集う学友が存在することが私の財産です。⑤植物や花を育てながら成長を見守るのが楽しみです。



副学長
(教学・学生生活担当)

かさい りつこ
笠井里津子

●Profile 笠井 里津子(かさい りつこ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S56.3)／弘前大学大学院医学研究科博士課程(H26.3)／②博士(医学)／③日本体育学会、日本保育学会、舞踊学会、日本運動・スポーツ科学学会、日本体力医学会、東京都女子体育連盟副会長、全国ダンス・表現運動授業研究会委員／④負けず嫌いで運動量が少ない日は駒沢公園を走り、真面目に自主練習を課しダンス部の仲間と一日中活動していました。夜通しで作品創作し朝日を何度も見ました。私の人生に必要な大切な学びはダンス場であり、生涯のきわめて深い人間関係を築くことができました。⑤犬が大好き。50年を超えてスノーピーグズを収集しお宝自慢ができます。



副学長
(企画・管理・運営担当)

まつい こうじ
松井 幸嗣

●Profile 松井 幸嗣(まつい こうじ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S55.3)／②体育学士／③日本体育学会、日本ハンドボール学会、日本ハンドボール協会 理事、全日本学生ハンドボール連盟 理事、日本ハンドボール協会 表彰／④まず浮かんでくるのは部活動のことです。私はハンドボール部に籍を置き、活動していました。日体大の学友会クラブの中でも1、2位を争うほど練習面・生活面で厳しいクラブでしたが、2～4年生まで全日本インカレで3連覇しました。4年間のクラブ生活で苦楽を共にした先輩・後輩、そして同級生はかけがえのない宝です。⑤大型バイク(ハーレーダビッドソン FLHR103)でのツーリング。

●Profile 具志堅 幸司(ぐしけん こうじ)

①日本体育大学体育学部体育学科(S54.3)／②体育学士／③公益財団法人日本体操協会副会長、神奈川県参与、公益財団法人日本スポーツ協会理事、天皇杯受賞(5回)、総理大臣賞受賞(5回)、文部大臣賞受賞(S58)、紫綬褒章受賞(H17)、文部科学省スポーツ功労者顕彰受賞(4回)、ロサンゼルスオリンピック 体操金・銀・銅メダリスト(S59)／④体操一筋。メキシコ・オリンピックを意識していました。⑤茶道。その所作に集中していると何もかも忘れて「無」になることができます。

くわけですが、大切なことは、「何故、ここ日体大にいるのか?」「初心忘るべからず」、時折、立ち止まり、振り返り、そしていまその胸中にある、はちきれんばかりの「夢」や「希望」あるいは目標を再確認しながら、今後の学生生活を過ごして欲しいと願います。

皆さんのこれからの道程は、決して平坦なばかりではありません。辛く苦しい場面に幾度となく遭遇することでしょう。そのピンチとどう対峙していくのか、まさに皆さんの真価が問われます。そのときの姿勢によって、新たに立つステージの風景が大きく変わってくるからです。どうか逃げ出さず、果敢に挑戦してください。詩人・書家の相田みつをさんは、「人との出会いが人生を根本から変えることがある」、と謳っています。本学での学生生活で、「良き友」「良き師」に出会い、そしてその関係を大事に育んでください。困ったとき、辛いとき、強がらずに、まわりを見渡し、すぐ傍にいる同級生、先輩、我々教職員に素直に甘えてみてください。きっと、解決の糸口や一筋の光がみえてくるはずです。

いよいよ来年「2020年には、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。本学が果たすべき役割(存在意義)のひとつに、国際平和の実現に寄与することが挙げられます。オリンピック・パラリンピック・ムーブメントの精神の実践と普及を推し進め、スポーツがもつ様々な「力」を余すところなく活用し、世界のスポーツ文化の深化・発展に努める、ということです。

来たる2020オリンピック・パラリンピック東京大会を、わたしたちの手で是非とも成功に導き、大輪の華を咲かせましょう！

皆さんの日体大での生活を大いに期待します。



保健医療学部
学部長

ひらぬま けんじ
平沼 憲治

●Profile 平沼 憲治(ひらぬま けんじ)
①産業医科大学医学部医学科(S60.3)／
②博士(医学)／③日本整形外科学会、日本体力医学会、日本臨床スポーツ医学会
評議員、日本整形外科スポーツ医学評議員、
「第9回秩父宮記念スポーツ医学賞—奨励賞—」受賞／④北九州の産業医科大学で、スポーツドクターを目指して6年間を
過ごしました。入学後早々、肺炎で授業を欠
席。環境が変わり、自分では気づかないスト
レスがあり、抵抗力が低下していたのだと
思います。新入生、特に地方出身者は、体調
管理に気をつけてください。⑤サッカー、ア
メフトのゲーム観戦、自分で体を動かすゴ
ルフ、異文化に触れる海外旅行



児童スポーツ教育学部
学部長

こんどう ともやす
近藤 智靖

●Profile 近藤 智靖(こんどう ともやす)
①宮城教育大学教育学部(H6)／愛知教
育大学大学院教育学研究科(H8)／筑波
大学大学院人間総合科学研究科(H18)／
②博士(体育科学)／③日本スポーツ教育
学会理事並びに学術誌「スポーツ教育学
研究」編集委員長、日本体育科教育学会常
任理事、(公財)日本学校体育研究連合会
理事、体育授業研究会会員、日本体育学会
会員、日本教科教育学会会員／④北海道・
利尻島の小学校教員を経て、筑波大学大
学院のとき約2年間、ドイツに留学、ハン
ブルク大学にてドイツのスポーツ教育学を研
究しました。⑤子どもと過ごすときが、最
高にリラックスできる時間です。



スポーツマネジメント学部
学部長

いし い たかのり
石井 隆憲

●Profile 石井 隆憲(いし い たかのり)
①日本体育大学大学院体育学研究科体
育学専攻(S60.3)／②博士(社会学)、体
育学修士／③日本スポーツ人類学会会
長、日本体育学会スポーツ人類学専門
領域代表、NPO法人日本チンロン連盟代
表理事／④剣道部では、1年次は学生寮、2
年次から卒業まで宿所で生活をしまし
た。剣道部監督の志沢邦夫先生に気にか
けていただき、とても感謝しています。⑤趣
味のチンロンはミャンマーの伝統スポー
ツで、十数年前に研究のために始めたのが
きっかけでした。現在では、授業でも教え
るようになりましたが、昨年、半月板を損傷
し、少し距離を置いています。



スポーツ文化学部
学部長

やぎ さわ まこと
八木沢 誠

●Profile 八木沢 誠(やぎさわ まこと)
①日本体育大学体育学部武道学科
(S59.3)／日本体育大学大学院体育学研
究科(H2.3)／②体育学修士／③日本武道
学会、スポーツ史学会、全日本学校剣道
連盟常任理事、関東学生剣道連盟卒業生
常任幹事、世田谷区剣道連盟顧問／④入
学と同時に剣道部に入学し、4年次には主
務を務めました。当時は全国津々浦々から
220名を超える部員が在籍しており、多く
の先輩や後輩たちと剣を交え、大いに語り
合いました。今の自分があるのも4年間を
乗り切った自信と多くの剣友の支えと感謝
しています。⑤掃除が息抜き。気持ちのコン
トロールになっています。

新教員組織（系）の編制にあたって

学長 具志堅 幸司

新教員組織（系）と教育研究組織（学部・研究科・附置機関等）



本年4月より、新たに、『日本体育大学教員組織規程』（学長制定）が施行された。これは、学則に基づき、教員組織に関する事項を定めたものであり、高度で持続可能な教育研究等の推進にあたり、適切な役割分担のもとに、その責任の所在を明確にし、柔軟かつ組織的な連携体制を確保することを目的に制定されている。

教員組織の在り方（旧研究室群体制の見直し）については、学長就任の際、その所信として掲げていたことから、当該規程は、適切な人員配置・研究室区分など、将来の人事（採用）計画を含めた教員組織の在り方を具体的に再考し、より良い研究環境の整備に向けたひとつの拠り所として位置付けるものである。

ここでは、その制定に際して取り纏めた、「日本体育大学における新たな教員組織（系）の在り方について」に基づき、本学新教員組織（系）の概略を説明しておきたい。

教員組織再編の必要性

○高等教育政策の動向

18歳人口の更なる減少にともなう入学定員の管理厳格化(2016(平成28)年度より段階的に)や東京23区内の大学を対象とした定員抑制(2020(平成32)年度より10年間)によって優れた学生の獲得に向けた大学間競争が、今後さらに過熱化することは想像に難くない。

また一方で、大学には近年、「内部質保証」(継続的改善)が強く求められ(2018(平成30)年度以降、認証評価の重点評価項目に設定)、なかでも「教育の質保証」、つまり、ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位・卒業認定、カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程の体系的編成、教養教育の充実、教授方法の工夫、学修成果の点検・評価・フィードバック、教育課程に即した教員配置など、本学が最優先に対応していかなければならない課題は少なくない。

このように、本学を取り巻く状況の急激な変化と、教育課程、教育内容・方法及び学修指導等の不断の改善・教育の質向上」が急がれるなか、『2040年に向けた高等教育のグランドデザイン』(中教審答申…2018年11月)では、新たな教育研究体制の在り方多様性と柔軟性の確保が提示されている。

とりわけ、従前の学部・研究科等組織に拠る教育課程にかわる新たな「学位プログラムを中心とした大学制度」が掲げられ、学位取得を目指す学生の学修(学生本位)の視点に立ち、学位を授与する課程(学位プログラム…当該学位のレベル・分野に応じ、達成すべき能力を明示、それを修得するよう体系的に設計された教育プログラム)を導入することへ大きな期待が寄せられている。

その背景には、ひとつに、近年の急速な学術研究の進展や大学教育に対する社会的ニーズ等を踏まえ、研究上の要請と教育上のそれとが必ずしも一致していない場合があること、ついで、学部・研究科の独立性を強調するあまり、組織間の協力や資源の結集が困難となり、学際的分野・先進的分野等の教育研究に機動的に対応できないこと、などが指摘されている。

こうした現行制度(教育研究上の基本組織としての学部等)の課題と限界を踏まえ、更なる学士課程・大学院課程教育の充実(学位プログラム)の実質化)を視野に教員組織の再編制を図ることは、今後の本学教学マネジメント(「教育の質保証」の展開)にとつて極めて重要な取組であると言わねばならない。

○旧教員組織(研究室群体制)の限界

一方、本学旧教員組織は、2013(平成25)年4月の児童スポーツ教育学部開設にあわせ、全学的に編制(研究室群…部門、研究群、研究室・領域)されたものである。その後も学部を拡充し、2014(平成26)年度には保健医療学部を、さらに体育学部武道学科、社会体育学科を改組(それぞれ、スポーツ文化学部(2017(平成29)年度、スポーツマネジメント学部(2018(平成30)年度)を新たに開設、現在、本学は、5学部9学科にて学士課程教育を展開している。

またこの間、児童スポーツ教育学部、保健医療学部の完成年度にあわせ、それぞれを基礎とする教育学研究科実践教科教育学専攻博士前・後期課程(2017(平成29)年度)と保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程(2018(平成30)年度)を設置するとともに、体育科学研究所に、新たにコーチング学専攻博士前・後期課程(2018(平成30)年度)を設け、大学院課程教育については、3研究科4専攻のもとにその充実を図っているところである。

こうした学部、研究科・専攻の相次ぐ新設(専任教員の増員は、専門領域(研究室)の多様化をもたらす、旧研究室群体制は、8部門、36研究群、93研究室・領域にまで拡大肥大化し、教員組織の全体像が捉えにくくなっていたことは否めない。

本学はこのように、教員組織と教員組織とを並存(いわゆる「教分離」)させ、各教員は、その主たる教育を担う学部・学科(コース)と研究の拠点(研究予算の積算基礎)となる研究室・領域とにそれぞれ所属、さらに、これらを基点として、大学院研究科の教育や附属機関等による研究、社会貢献、競技力向上等に関する各種取組(事業)に従事してきた。

ところが、その学士課程・大学院課程教育は、いずれも、専門分野が隣接しており、多くの教員が、複数の教育組織を跨いで授業や研究指導を兼担していた。あわせて、各教員は研究室・領域の構成員でもあったことから、帰属意識(責任の所在)をどのように有するべきか、あまりに複雑化し、好ましい状況とは言い難いものであった。

また、学部・研究科の増設による学問体系の細分化は、個別組織(研究室・領域)の中での閉鎖的な人員配置(教員の偏り)を招きかねず、ともすれば大学全体の教育研究機能の硬直化(あるいは空洞化)を引き起こす恐れもある。各研究室群あるいは研究室・領域間相互の教育研究活動とその陣容がみえにくく、さらに同様の教育研究を担う教員が、それぞれ別の学部、研究科、研究室・

領域において、新たに採用(配置)されることなどが懸念されていた。

新教員組織(系)の概要

○「系」の構成・機能

新たな教員組織として編制する「系」は、かかる学問分野を大括りにした集合体として、次の6つに整理されている。

- ①「基礎教養系」…人文・社会・自然科学の諸分野
- ②「教育福祉系」…教育・福祉・保育学の諸分野
- ③「体育スポーツ科学系」…体育スポーツ科学の基礎的諸分野
- ④「健康医療系」…健康・保健・医学医療の諸分野
- ⑤「身体教育系」…保健体育教育にかかる実践的諸分野
- ⑥「コーチング系」…スポーツ指導にかかる実践的諸分野

各教員は、いずれかの「系」(教員組織を主たる所属組織(本属)とし、それぞれ学部(学科・コース)・研究科(専攻)・附属機関等の教育研究組織に出向き(配属)、その「教育」「研究」「社会貢献」「厚生補導」「管理・運営」等、当該の職務(活動)を「担当(従事)」する」という仕組みを採る。

この新教員組織(系)は、教育研究組織(学部等)に対し、設置基準上求められる専任教員数を踏まえ、これまでの活動に支障のないよう配慮した上で、教育研究上の目的や将来構想を達成するために必要な規模の教員配置を行うものである。包含する学問領域に関わる教育と研究、社会貢献、さらには本学の特色である競技力向上に関して、いずれにも偏らない(等間隔)の全学的な組織として位置づけられている。

また、「系」に包含される研究領域とその人員(含担当授業科目)はそれぞれ固定化せず、先駆的分野(領域)についても、必要に応じて受入・創出を積極的に進め、戦略的・弾力的な教員配置を可能とし、本学の教育研究機能の継続的な進展を図る。従って、これまで慣例的に研究室(領域)単位で管理してきた教員人事(授業担当者の割当を含む)については、今後、学部・研究科と「系」との間で調整していくこととする。

つまり、「系」は、各教員の研究活動の基盤であるとともに、その諸活動(職務)について、当該の評価(日本体育大学専任教員の活動評価規程に基づく「教員自己点検・評価」)を担うピアレビュー集団(FD活動の基本単位)として機能していくものである。

新教員組織(系)に含まれる旧研究室・領域

系	旧研究室・領域	系	旧研究室・領域
基礎教養系	文学 歴史学 法学 経済学 外国語学 音楽 生物学 情報学	身体教育系	スポーツ教育学 教職教育 初等体育 幼児体育 体操 体操競技 陸上競技 水泳 バスケットボール ハンドボール サッカー ラグビー バレーボール 卓球 テニス・ソフトテニス バドミントン 野球・ソフト 柔道 剣道 武道学 ダンス・伝統芸能 レクリエーション方法 野外スポーツ アクアスポーツ
	教育学 社会福祉学 児童福祉学 保育学 学校保健学 教育心理学 社会教育学 特別支援教育 国語教科教育 算数科教育 理科教育 社会科教育 英語科教育		コーチ学 体操競技 表現運動(器械器具系) トランポリン 陸上競技 水泳 バスケットボール ハンドボール サッカー ラグビー バレーボール 卓球 テニス・ソフトテニス バドミントン 野球・ソフト ゴルフ 柔道 剣道 相撲 武道学 レスリング アーチェリー 雪上スポーツ 水上スポーツ
	教育・福祉・保育学の諸分野		スポーツ指導にかかわる実践的諸分野
教育福祉系	教育学 社会福祉学 児童福祉学 保育学 学校保健学 教育心理学 社会教育学 特別支援教育 国語教科教育 算数科教育 理科教育 社会科教育 英語科教育	コーチング系	スポーツ指導にかかわる実践的諸分野
体育スポーツ科学系	スポーツ哲学 スポーツ史 スポーツ社会学 スポーツ社会人類学 生涯スポーツ学 スポーツマネジメント スポーツ危機管理学 スポーツ政策学 スポーツバイオメカニクス 運動生理学 スポーツ心理学 測定評価学 トレーニング 運動処方 栄養教育学 スポーツ栄養学 アダプテッドスポーツ学		
健康医療系	発達発達学 健康教育学 衛生学・公衆衛生学 母子保健 スポーツ医学(内科系) スポーツ医学(外科系) 体力医学(内科系) スポーツ医科学 専門基礎医学 運動器外傷学 アスレティックトレーニング スポーツ・コンディショニング 救急蘇生・災害医療学		
健康医療系	健康・保健・医学医療の諸分野		

○系代表の役割

各系には系代表を置くとともに、その規模は、大学全体の専任教員数に基づき、およそ20〜40名程度とする。各系代表の主な職務は、①教員配置(現況把握、将来構想等)に関する事、②教員活動評価(含エフォート管理)に関する事、③FDに関する事、④研究活動(含予算)に関する事、などであり、その円滑な運営に努める。

具体的には各系代表は、構成員の教育研究組織における担当状況(教員の職務としての「教育」「研究」「社会貢献」「厚生補導」「管理・運営」)を適正に把握するとともに、業務負担の均衡、活動状況(実績)に基づく適切な評価に努めていかなければならない。複数の学部・研究科・附属機関等において職務を担当する場合の役割や責任の範囲(活動状況・エフォート)に一定の制限を設け、把握することで負担が偏らないように留意することが求められる。

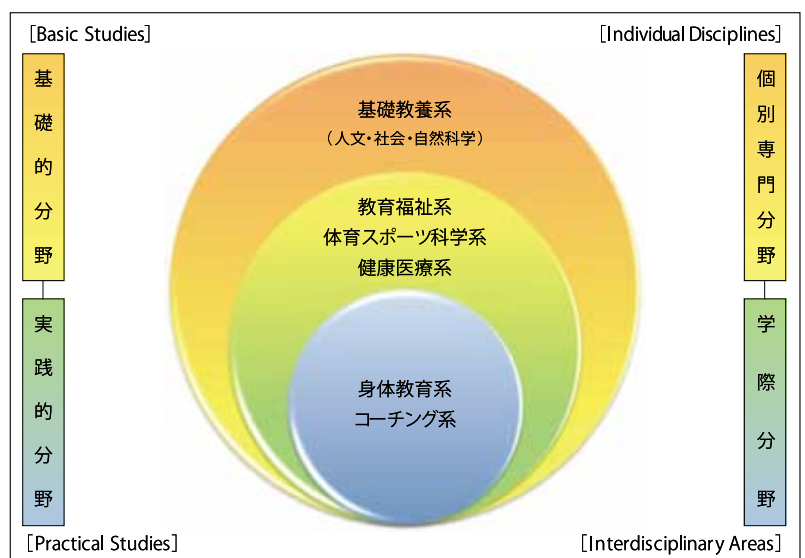
○「系」の編制により期待される効果

新教員組織(系)の編制により、従前に比べ、広い視野と全学的視点から適切な教員確保と最適配置(合理化)が可能となり、かつ、新たな高等教育政策や学内の組織的な教育研究活動に迅速、柔軟に対応できる体制が整うものと考えられる。

また、かかる分野の諸課題を適切に解決(改善)しうる組織体制と、社会的ニーズの変化や学問の深化・発展に応じて、自らのビジョン(教育・研究・社会貢献に関する目標)や組織の在り方を随時、自律的に見直し得る仕組みの確立が期待される。

一方、本学には、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」としてのスケールメリットがある。体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野を中心とした豊富な学内資源(人的・知的財産)を有効に活用し、教育の質保証はもとより、基礎的・実践的研究の推進、地域社会との「知と技」の好循環の創出、国際競技力の向上など、そのミッション、ビジョンの履行にあたり、永続的に努めていかなければならない。

新教員組織(系)と学問分野の拡がり



なければならない。

ここで、新たな教員組織(系)を編制し、その総力(全学のリソース)を結集・有効活用することによって、学部・学科(コース)、研究科・専攻の枠を越えた持続的な横断的教育(例えば、「全学共通教育プログラム」)が提供でき、今後、制度化が検討されている学士課程・大学院課程毎に体系的に設計された「学位プログラム」の展開(柔軟な教育課程の編成についても可能となる)。

これらの新たなプログラムの実現によって、これまで個別組織(研究室・領域)での対応に限定されがちであった授業科目の担当(シエア)がより広範となり、各教員は、自らの研究活動や社会貢献活動、競技指導・支援に充てる時間をより多く確保できることが想定される。

また、全学的に、体育スポーツ学、教育学、保健医療学の各分野を中心とした学術的連携・融合により、新たな研究領域の創出が促進され、先進的な教育研究の実施体制構築が大いに期待されるところである。

新教員組織(系)別専任教員一覧

新教員組織(系)	学科	専任教員											
基礎教養系	体育	刑部 久	世川 望	町田 輝雄	林 忠男	堀尾 哲也	角田 貢	市川 純					
	健康	今野 哲											
	国際	山口 和之	舘鼻 誠										
	マネ	石上 秀昭											
	ライ	西村 拓也	清水 雅彦										
	児ス	スーザン・ミラー	中島 龍一										
教育福祉系	体育	清水 直治	舟橋 厚	三好 仁司	長沼 俊夫	市川優一郎							
	健康	横山 順一	北島 洋美	野井 真吾	半田 勝久	鹿野 晶子							
	武教	藤田 主一	齋藤 雅英										
	ライ	上田 幸夫											
	児ス	府川源一郎	角屋 重樹	金本 良通	島田 功	池野 範男	猪瀬 武則	奥村 高明					
		奥泉 香	橋谷 由紀	若尾 良徳	本多 洋実	東野 裕子	宇部 弘子	稲田 結美					
体育スポーツ科学系	体育	船渡 和男	関根 正美	西山 哲成	荻 浩三	大石 健二	黄 仁官	高井 秀明					
		菊池 直樹	田村 優樹										
	健康	田中 信行	岡本 孝信										
	武教	南部さおり											
	国際	波多腰克晃	松浪登久馬	福井 元									
	マネ	佐藤 潤	石井 隆憲	齊藤 隆志	日比野幹生	松瀬 学	横田 匡俊	佐野 昌行					
	ライ	野村 一路	依田 充代										
	児ス	須永美歌子	亀山 有希	安達 瑞保									
健康医療系	体育	河野 徳良	梶 規子	岡田 隆									
		大野 誠	入江 一憲	津山 薫	鈴川 一宏	小林 正利							
	国際	金田 英子											
	児ス	岡本 美和子											
	整復	川上 順子	平沼 憲治	久保山和彦	伊藤 譲	石山 信男	樋口 毅史	清水 勇樹					
		服部 辰広	松田 康宏										
	救急	山本 保博	成田 和穂	小川 理郎	木村 直人	中澤 真弓	山田真吏奈	遠藤 直哉					
		鈴木 健介											
身体教育系	体育	具志堅幸司	米地 徹	松平 昭二	大塚 幹太	根本 研	辻 昇一	伊藤由美子					
		松本 真咲	篠原 秀典										
	健康	白旗 和也											
	武教	山本 洋佑	八木沢 誠	小柳 将吾	仲間 若菜								
	国際	荒木 達雄	岡出 美則	筒井 崇護	後藤 彰	津田 博子							
	マネ	本間 啓二	石井 隆士										
	ライ	西尾 末広	小泉 和史	馬場進一郎	高荷 英久								
	児ス	久保 健	今関 豊一	笠井里津子	古川 暁也	近藤 智靖	河田 聖良						
コーチング系	体育	松井 幸嗣	鄭 泰應	水野 増彦	杉田 正明	別府 健至	大本 洋嗣	伊藤 雅充					
		畠田 好章	瀬尾 京子	田辺 勝	山崎 博和	山本 健之	藤田 将弘	岩原 文彦					
		田沼 広之	小林 史明	矢野晴之介	松本 慎吾	大束 忠司	木下 佳子	金 善淑					
		小畑 直之	中瀬 卓也	関口 遵	高橋 流星	湯本 健一							
	武教	阿江 通良	齋藤 一雄	古澤 伸晃	新里知佳野	伊東 良							
	マネ	竹腰 誠	森井 大治	木原 祐二									
	ライ	山本 博	青柳 徹	古城 隆利									
	整復	小嶋 新太											
	救急	村田由香里											

体育＝体育学科

健康＝健康学科

武教＝武道教育学科

国際＝スポーツ国際学科

マネ＝スポーツマネジメント学科

ライ＝スポーツライフマネジメント学科

児ス＝児童スポーツ教育学科

整復＝整復医療学科

救急＝救急医療学科

大学事務を使いこなそう

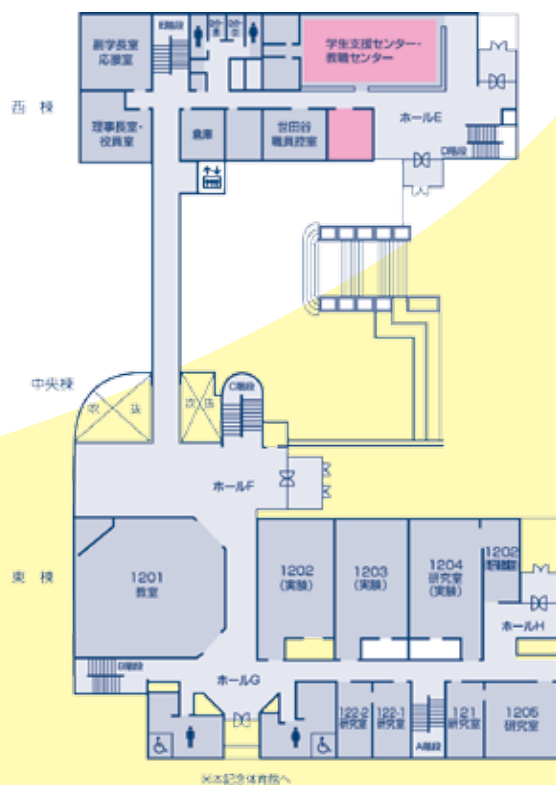
一人だけで悩んだり不安を抱えたりするより、まず相談してみることが解決の近道です。積極的に活用しましょう。

横浜・健志台キャンパス

横浜・健志台キャンパス 9号館4F (事務室)



横浜・健志台キャンパス 1号館2F



東京・世田谷キャンパス
学生支援センター

横浜・健志台キャンパス 学生支援センター

Support
Pick up

【学生支援センター】

学生支援センターは、学生支援全般の充実改善を効果的に図ることを目的とし、入学から卒業までの学生生活を総合的にサポートすることを目標に支援しています。分からないことがあった時は、まず学生支援センターまで尋ねてください。

- 各種証明書発行に関すること - 履修申告に関すること - 試験、成績に関すること - 学籍に関すること など	03-5706-0903 (東京・世田谷キャンパス) 045-963-7901 (横浜・健志台キャンパス)
- キャリア対策講座に関すること - キャリア支援に関すること - インターンシップに関すること - 進路の相談に関すること - 各種資格取得に関すること など	03-5706-0905 (東京・世田谷キャンパス) 045-963-7936 (横浜・健志台キャンパス)
- 授業料減免、各種奨学金に関すること - 学生証及び学割証の発行 - 休学・退学相談 - 住所等の各種変更に関すること - 長期欠席に関すること - 公認欠席に関すること - 遺失物・盗難等に関すること - 学生相談 (悩み事等) - 寮に関すること - 掲示に関すること - 下宿、アルバイトに関すること など	03-5706-0904 (東京・世田谷キャンパス) 045-963-7905 (横浜・健志台キャンパス)

事務窓口業務時間 月～金 8:30～17:00

但し、授業の有る場合、業務時間が8:30～18:30になります。

横浜・健志台キャンパス 1号館3F



横浜・健志台キャンパス 管理部管理課

学生生活を力強くサポート！

各種手続はもちろんのこと、学習や研究、競技力向上や健康管理などを大学の事務組織が全面的にサポートしています。

東京・世田谷キャンパス

東京・世田谷キャンパス 教育研究等1F



東京・世田谷キャンパス 健康管理センター

Support
Pick up

【健康管理センター】

健康管理センターは、学生及び教職員の健康と安全を確保するための諸業務を行っています。

- ・定期健康診断(詳細は、掲示板や学内ポータルシステムに掲載)
- ・健康相談(スポーツ整形外科、一般内科、呼吸器科、循環器科、心療内科、婦人科、総合内科等の専門医が相談に応じます<予約制>)
- ・外傷、急病時の応急処置と休養看護(怪我の応急処置、急病や体調不良時の休養室の利用)
- ・保健指導
- ・健康診断書証明書
- ・学生教育研究災害傷害保険

03-5706-0854 (東京・世田谷キャンパス)
045-963-7904 (横浜・健志台キャンパス)



図書館

Support
Pick up

【図書館】

- ・図書館利用相談(図書館の利用方法や学習、研究、調査を進めていくうえで、必要な文献や情報の探し方等の助けをします)
- ・パソコン(デスクトップ型のほか、館内貸出用のノート型パソコンを用意しています。ネット検索およびExcel、Word、PowerPointのレポート文書作成が可能です。図書館ホームページからは、スポーツ・医学系のデータベース、電子ジャーナル、新聞のWeb版、スポーツ動画等の利用ができます)※そのほか週1回パソコンに関する相談を行っています。
- ・グループ閲覧室(本館の3室。ホワイトボード、プロジェクターの利用可能)利用方法や開館日程・時間の詳細は図書館ホームページを確認してください。<https://library.nittai.ac.jp/>

【そのほか】

●教職支援センター

- ・教育職員免許状に関すること
- ・保育士資格に関すること
- ・教育職員免許状に係る実習(介護等体験含む)に関すること
- ・教員採用試験、教員求人に関すること

03-5706-0914 (東京・世田谷キャンパス)
045-479-7355 (横浜・健志台キャンパス)



教職支援センター

●国際交流センター

- ・海外の大学との学術
- ・スポーツ協定に関すること
- ・留学、国際プログラムの開発(情報収集・情報提供含)に関すること
- ・そのほか国際交流に関すること

03-5706-0816 (東京・世田谷キャンパス)



国際交流センター

——プロ野球選手となった今の心境

東妻勇輔 小さい頃からの夢でしたので、ワクワクした気持ちでいっぱいです。

松本航 嬉しい気持ちはもちろんありますが、不安が全くないとは言えは嘘になります。しかし、東妻選手と同じパ・リーグの球団に入団することになりましたので、お互いに頑張ろうと思っています。

東妻 大学1年の最後のリーグ戦で松本選手が登板したときのことは今でも覚えています。同じピッチャーであった自分より先に試合で投げた、先を越されたのだと強く印象付けられました。そのときから自分もやってやると、ライバルとして意識するようになったと思います。

松本 入学したとき智弁和歌山のエースの東妻勇



東妻勇輔

硬式野球

東妻勇輔(あづま ゆうすけ)
千葉ロッテマリーンズ所属。投手。智弁和歌山高校卒業後、日本体育大学に入学。硬式野球部に入部。2017年に明星大学戦でノーヒットノーランを達成。19年、体育学部卒業。千葉ロッテマリーンズにドラフト2位で入団。

輔がいることを知り、すごい選手が入ったと思っていた。僕は1年のときは先輩についていくのが精一杯で、2年になってから少し余裕ができて野球に向き合えるようになりました。

東妻 この4年間は普通では出会えない人に会え、いろいろな経験をして人間的にも大きく成長できたと思います。その影響を与えてくれた一人が松本選手であることは間違いありません。

——日体大に入ったきっかけ

松本 私は古城隆利監督に、一緒に野球をやるように誘っていただき入学を決めました。高いレベルでやりたいと考えていたし、日体大は環境も良いので野球に打ち込めると思いました。実際その通りで素晴らしい環境と尊敬する指導者のもとで野球も人間的

にも成長できました。

東妻 実は野球は高校までと考えていたんです。でも野球には携わっていきたくないので、体育の教員になって、いつかは母校・智弁和歌山の野球部の指導者になりたいと考え、教員免許を取るために日体大に進学しました。しかし、大学に入って野球に対する気持ちが変わりました。そして3年生の頃からプロを意識しはじめました。



目標を見失わず、常に上を目指していく。 その結果が今であり、未来である。

お互いが切磋琢磨し、高めあった結果、夢を叶えた二人。これからも、その絆は変わらずさらに上のステージへ向かう

松本 東妻選手とは同じポジションということもあり、また関東に出て来て、すべての環境が新鮮で、1年のときは二人で出かけたこともよくありました。

東妻 ただ、自分は外に出たいけれど、松本選手はあまり外に出たがらない性格であることを知り、無理に誘わなくなりました。たまに二人で食事に行ったら後輩に驚かれることもありました。

松本 二人でいるときにはゲームの話などをします。ゲームが好きなので。

東妻 この前はずっとバウプロやっていました(笑)。

松本 これからは僕たちがプロ野球選手なので、後輩たちにバウプロでエースや抑えの切り札的に使ってほしいです。ゲームも、もちろん現実の試合も、後輩たちのためにも頑張らなければいけないと思っています。

——日本一になって二人で歓喜した

松本 この4年間で一番嬉しかったのは大学日本一になったことです。

東妻 日本一の瞬間は二人で抱き合って喜びました。またリーグ戦では松本選手の30勝という個人成績もかかっていました。いつもは負けたくないという気持ちが強かったのですが、そのときは松本選手のためにやろうと力が入りました。

松本 30勝は大きな成果です。でも、これはみんなが支えてくれたからです。とくに30勝目は僕の前に東妻選手が投げて、抑えてくれたから達成できたのです。日本代表として大学世界一になったこともあります。それ以上に日体大の仲間と日本一になったことは強く思い出に残っています。

東妻 個人的に記憶に残っているのはノーヒット



ノーランです。松本選手をお互いライバルと思い、切磋琢磨したからこそ、こうした結果が残せたのだと確信しています。でも4年間を振り返って、松本選手には野球では一度も勝てたことがないと思います。

松本 航

硬式野球

松本航(まつもと わたる)

埼玉西武ライオンズ所属。投手。明石商業高校卒業後、日本体育大学に入学。硬式野球部に入部。2017、18年と侍ジャパン大学代表に選出。同年首都リーグで30勝を達成。19年、体育学部卒業。埼玉西武ライオンズ1にドラフト1位で入団。



松本 僕はキャプテンだったのですが、自分のことだけで精一杯のとき、東妻選手が後輩を指導してくれました。東妻選手はチームづくりに欠かせない存在でした。

——異なるタイプが

相乗効果を生む

東妻 野球に限ったことではありませんが、何事にも全力で向き合うことを信条としています。大学に入ってその気持ちがい

松本 いろいろなものに対して自分の感覚というのは、自分にしかわからないものがあります。だから自分を信じて今までやってきたことを継続していくことです。

東妻 二人は似たように見えるかもしれませんが、お互いタイプが違います。だから競う点もありますが、相手を認めつつ、無理に真似しようとは思いませんでした。

松本 だからこそアドバイスもできるし、相手の意見も素直に聞くことができまし

東妻 プレースタイルが違つので、後輩に対しても違った指導ができるし、自分のタイプや特徴を理解したうえでアドバイスを

受けることもできる。対応が異なることでチームの試合運びの幅が広がりました。後輩にとつてもいい影響を与えられたと思います。

——東京オリンピックとその先へ

東妻 東京オリンピックは入団して2年目で迎えることになります。プロ野球には錚々たる選手がいるので、自分が代表に選ばれるのは、簡単なことではないと思います。ただ、諦めないで努力します。

松本 自分の国でオリンピックが開催されるのは一生にあるかないかの大きなチャンスなので出場したい気持ちは強いです。プロの世界は厳しいですから、まずは1年目から全力で向かいます。

東妻 オリンピックも大きな目標ですが、最終的には、そのチームの一番最後を任せられる守護神と言われる存在になりたいです。そのためにすべてに全力を尽くします。

松本 一日でも長くプロ野球選手としてプレーしたいです。そのためには日々の努力を大切にします。





夢を叶えた今、1年目から、
すべてに対して全力を尽くす。



松本 航

自分が何をしたいか、何になりたいかをわかった上で
行動するのが成長するために大切なこと
その強い思いを見失わないようにする。

東妻 勇輔

自分がやらないと誰も助けてくれない
自分がやらないと上には上がついていけない
つまり、自分で考えて行動する責任がある。

[Next is us 日体魂の聖火リレー]

【Next is us 日体魂の聖火リレー】

◆大竹選手からの質問に答えて

「どんなアスリートでも自分がやっている競技が大好きだと思うのですが、特に野球の場合は野球好きなアスリートが多いように感じます。野球以外に好きなスポーツは何でしょうか」

東妻 両親がバスケットをしていたので、観戦はします。でも、息抜きでするスポーツは軟式野球や草野球など、やっぱり野球が大好きです。

松本 サッカーは好きで、やろうと思ったこともあります。姉や妹がバスケットやバレーをしているので、それを見に行くこともあります。僕も野球が一番好きです。

次号に登場するアスリートに向けて、東妻選手、松本選手からエールをいただきました

◆東妻選手・松本選手からのエール

僕らは1つの目標を見失わないように4年間努力してきました。そして常に上を目指してきました。そうすると必ず結果はついてきます。共にその目標を目指して頑張りましょう。

次号アスリートへ、リレー質問を展開していきます。ご期待ください。

対処を誤ると重大な事態を招く恐れがあります。今回は、スポーツの現場などで数多くの頭部外傷に対応してきた救急医療学科・学科長の小川理郎教授に頭部外傷とは何か、どんなことが起こるか、そしてその予防法などをお聞きしました。



【プロフィール】
ナビゲーター
小川 理郎（おがわ さとお）

保健医療学部救急医療学科長 教授
日本医科大学大学院医学研究科(救急医学)修了。医学博士。日本救急医学評議員、日本臨床救急医学会評議員、日本救急医学会指導医/専門医、神経外傷/外傷、救急外科医。日本医科大学関連施設で救急医療、災害医療に従事し、日本医科大学救急医学教室などを経て、現職。

メッセージ

「スポーツにおける脳振盪に関する国際会議」が2001年から4年に1度開催されています。これはスポーツで脳振盪を起こした選手を正確に評価し、スポーツに安全に復帰させることを目指すものです。この国際会議から脳振盪を起こした選手を正しく評価をするSCATが作成されました。SCATは改訂を重ね、SCAT5となっています。

スポーツでは頭部外傷のなかでも脳振盪はよく起こりがちです。軽度であればよいのですが、単なる脳振盪ではなく、実は深刻な状態に陥っていることもよくあります。そこで脳振盪を起こした選手が重症な状態になっていないかを早く見つけ出すためにSCAT5を用いて評価しているのです。

頭部外傷はまず予防をすることが第一です。そのためにはしっかりとした準備・的確な体調管理をし、無理をしないことです。

救急医療学科では頭部外傷をはじめスポーツにおける「もしも」のときに備え、高度で質の高い指導を行っています。

▽頭部外傷とは

どのようなものか。

頭部外傷は、一定の外力が頭部に作用して損傷が生じることです。外傷によって直接生じる一次性損傷とその後短時間内に脳の血流障害が生じて発症する脳浮腫などの二次性損傷があります。頭部外傷の分類は、外力が脳全体に及んだ場合に生じるびまん性脳損傷と全脳のある特定の部位だけに外力が作用して生じる局所性脳損傷の2つがあります。びまん性脳損傷の中に、すぐに意識やいろんな神経異常の症状が改善し、全く神経系に異常を認めない脳振盪と、意識障害や神経の異常症状が後遺症として残るびまん性軸索損傷(DAI)に分類されます。局所性脳損傷とは、頭蓋骨折、くも膜下出血、脳挫傷、硬膜外血腫、硬膜下血腫などを生じた場合をいいます。また頭部に弱い外力であれば、損傷は頭蓋外の頭皮の軟部組織損傷だけですが、外力が強くなればなるほど、頭皮の血管損傷、頭蓋骨折、さらに頭蓋内の全脳の神経損傷、血管損傷にまで損傷が及びます。特に重症の場合は、外傷性髄液漏といつて、頭蓋骨の中に溜まっている髄液が、頭蓋骨骨折部位から、創部や鼻孔、耳孔から漏れてくる場合があります。さらに頭部外傷は、頭部だけの損傷と考えがちですが、

実際には、外傷性頸部症候群(頸椎捻挫)のように顔面、首がある頸部も同様に外力が作用しているので、頭部外傷では常に一緒に対処しなければなりません。外力が強い場合は、身体に症状がなくても、頸椎・頸髄損傷が生じている場合があります。両手でしっかりと傷病者の頸部を保持して動かさずに固定し、常に頸部損傷があるとして対応します。

▽もし頭部外傷を受けたら

まず頭皮の傷の程度から、損傷部位と内容をしつかりと確認します。受傷直後に意識消失(失神)があったのか?自分の名前が言えるのか?今の時間や現在いる場所がわかるのかどうか。おかしいことを言っていないか、言葉の異常はないのか?気分不快感、吐き気、頭痛、めまいなどの身体症状や精神症状が、短時間内に悪化していないのかを確認します。"なんともない"と思っても、ときに頭部へのダメージは、後で深刻な事態になることがあります。「たんこぶ」(皮下血腫)だけで頭痛だけだから大丈夫。心配はいらない」などと、侮らないで、一瞬でも意識を失えば、必ず脳神経外科医の診察を受けて、頭部CT検査を実施して下さい。頭蓋骨骨折で、その直下の小血管が破れて少量の出血が続いていれば、約3時間後には、

血塊が大腦を圧迫して突然、頭痛と嘔吐を繰り返し、たかだか30~40mlの出血量だけでとなり意識を失って急性硬膜外血腫で死亡する場合があります。また無症状でも脳挫傷や神経線維の損傷がみられることもあります。頭部を強打して、過去の記憶が無くなっていれば、絶対に入院しなければなりません。スポーツ選手が、競技中に脳振盪を起こしたかどうかを確認する評価ツールはSCAT5 (Sport Concussion Assessment Tool) スキャットファイブと呼称されています。頭痛が続く場合、首を押さえて痛い場合、嘔吐したとき、物がダブつてみえるとき、ひきつけやてんかんを生じたとき、手足の脱力やジンジンするとき、不穏状態では医師がいなければ、必ず救急車を呼んでください。地面の上で倒れて動かない。質問に正しく答えられない、混乱している。歩行時によりめく、バランスが悪い、動作が鈍い「ぼー」としている。うつろな様子。頭部の衝撃の後にすぐに起き上がれないなどがみられれば脳振盪の可能性を強く疑ってください。また記憶の評価として、

今日は何処の競技場にきているのか?試合は前半か後半かがわからない。最後に点数をいれたのがだれかわからない。前回の試合の勝敗などがわからなければ脳振盪を疑います。脳振盪の疑いがある選手は、直ちに競技や練習を止めさせます。最初の1時間は選手を一人にしないこと。一人

で家に帰さず責任ある成人の付き添い必要です。飲酒もさせず、自転車やバイクの運転は医師が許可するまではしてはいけません。脳振盪が改善しなければ、外傷性低髄圧症候群(脳脊髄液減少症)を疑う必要があります。

▽頭部外傷を防ぐために

まず頭部を打たないことが一番重要です。さらにヘルメットをして頭部を守る防具をつけることを心がける。防具があれば局所性脳損傷を防ぐことができます。次に頭部外傷にかぎったことではありませんが、自分の体調をしつかり管理して練習や競技に臨むことも意識しておきましょう。若いから大丈夫という過信や寝不足などで無理をすると事故が起こります。救急医療学科では、日体大のラグビー部へSCAT5を用いた頭部外傷のサポートと病院前外傷診療の知識と技術が盛り込まれた活動指針であるJPTCC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care: ジェイピーテック)のファーストレスポンドラーの講習も行っています。最後に我々の救急医療学科の救急医学の知識と技術を大いに活用していただき、選手の手安全確保と健康改善に、また競技成績の向上の一役になれば幸いです。

教職センター

Report ⑥

教員志望の日体大生を力強くサポート

今年も多くの日体生が教員の夢を実現しました。これからも日体生ならではの強みを備え、社会的要請に応える教員を養成するとともに、教員志望学生の教育現場に対する情熱に応じていきます。

【平成30年度 教員採用試験合格者メッセージ】



大野 葵 (おおの あおい)

体育学部体育学科
日本大学櫻丘高等学校出身

合格先

昭和女子大学附属昭和中学校・昭和高等学校／江戸川学園取手中学高等学校／中村中学高等学校(中学・高校保健体育)

教員採用試験の突破講座として、毎年学校に来てくださるベテランの先生方からの授業は、刺激になりました。また、バスケットボール部をやり遂げたことも社会人になっていろいろな局面で活かせると思います。専門的な楽しいスポーツを学ぶだけでなく、日本体育大学の厳しさは社会を生きるための愛情だと思います。教員採用試験では、目標を1つに絞ることももちろん大切ですが、先を見据えての行動も大切ではないでしょうか。最初から妥協するのではなく、粘り強くチャレンジし続けてください。私は教員ではなく、教師になりたいと思います。生徒や保護者からはもちろん、職員からも信頼される教師になりたいです。



錦織 実 (にしこり みのる)

体育学部体育学科
島根県立松江農林高等学校出身

合格先

島根県(中学校保健体育)

教職センターを通じて教職に精通した多くの先生方と関わりを持つことができ、本当に良かったと思っています。個別指導では、相談や小論文の添削に対応していただいたり、永井先生の講座では、教員採用試験へ向けてどのように勉強を進めていけばよいかを知ることができました。教員を志す者として、何事にも全力で一生懸命取り組むことが大切だと思います。また、限りある大学生活の中で様々な分野にアンテナを張り、フットワークを軽く行動してほしいです。私は、生徒を信じ、生徒から信頼される教員になりたいと考えています。そのためにも、常に明るい雰囲気での生徒と関わっていききたいです。



久保田 大輝 (くぼた だいき)

児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科
神奈川県立横浜清陵総合高等学校出身

合格先

横浜市(小学校)

教員を目指すうえで、子どもたちと積極的に関わるように努力しました。教育実習をさせていただいた学校で行われるイベントにはなるべく参加し、ボランティアとして遠足や宿泊行事など様々な引率をお手伝いさせていただきました。また、週末には高校までの経験を活かした地域の少年野球チームでの指導や、大学で所属していたタッチラグビーサークルで実施していたタッチラグビー教室など、スポーツを通じた活動も行っていました。実際の学校現場を経験する事や子どもたちと関わることで、教員になりたいという思いが一層強くなりました。みなさんも、自分の良さを探し、自分なりの取り組み方を見つけてください。教育について、自分の考えや意思を持つことが大事だと思います。



牧 里美 (まき さとみ)

体育学部健康学科
栃木県立真岡女子高等学校出身

合格先

北海道(養護) 東京都(養護)※期限付

個別指導では、主に養護教諭専門の牛島先生に論作文を見ていただきました。2年生の頃から文を書く練習をしていたので、自分の実力に先生の指導が加わり、理想的な論作文が書けるようになりました。二次対策講座では、養護教諭志望の人たちが集まり、合格に向けて集団討論や、個別面接の練習をしました。卒業生や既に勤務している先輩方も来るため、大変勉強になりました。養護教諭は、受験者が限られていて、孤独な戦いになるかもしれません。しかし、やりきれば必ず結果は付いてきます。自分ならではの勉強法を見つけて、妥協せずに頑張ることが大切です。子どもたちとともに私も成長していきたいです。

教員採用試験現役合格者

【神奈川県・川崎市】 《小学校》2名	【神奈川県・横浜市】 《小学校》2名	《高校》3名 《中学校》3名 《小学校》3名	【神奈川県】 《中学校・高校》6名 《小学校》12名	【東京都】 《小学校》3名	【千葉県・千葉市】 《小学校》3名	《高校》1名 《中学校》1名 《小学校》1名	【埼玉県】 《中学校・高校》1名	【宮城県】 《養護》3名 《中学校》1名 《小学校》1名	【北海道・札幌市】 《養護》3名 《中学校》1名 《小学校》1名
-----------------------	-----------------------	------------------------------	----------------------------------	------------------	----------------------	------------------------------	---------------------	---------------------------------------	---

決意新たに教壇に立つ。今後も本学が掲げる「養成すべき4つの力」を身に付けた教員を養成する。

【教職センターとしてのこれから】

平成31年4月より「教職センター」（旧称：教職支援センター）として、即戦力となる教員の養成に一層努めていきます。そこで本年度より当センターでは、新たに各講座を「教員養成プログラム」として位置付け、本学の「養成すべき4つの力」と関連させた指標を策定しました。自身にどのような力が必要か、またその力を身に付けるためにはどの講座を受講するべきか、よりわかりやすく伝える事を目的としています。この指標を活用し、教職を目指す学生をより強力にサポートする体制をこれからも整えていきます。

日本体育大学では、“日本体育大学 建学の精神”のもと、以下のような教員養成を目指している。

【養成する教員像】

将来を担う子供たちの教育に対する強い使命感のもと、社会が期待する教育の推進・充実に資する資質・能力を有し、実践できる教員

【養成すべき4つの力】

1. 人間性：教育者としての人間性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
道徳心、思いやり、誠実、協調性、人間的魅力 等

2. 社会性：子供たちの模範となる社会性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
責任感、コミュニケーション能力、課題解決力、組織人の一員としての自覚 等

3. 専門性：日本体育大学の歴史と伝統に培われた本学ならではの理論と実践に基づいた専門性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
教養、専門的知識、児童生徒理解、指導力、企画力、言語能力、表現力、創意工夫 等

4. 国際性：世界的な視野のもとで、教育に貢献できる国際性を身に付け、高めていく力
＜具体的な資質・能力等＞
多様性、伝統・文化理解、国際的なコミュニケーション能力、多様な言語・表現力 等

教員養成指標

教員として基礎形成期（1～3年目）指標	教員が身に付けるべき力			
	生活指導・進路指導力（児童生徒指導）	外部との連携・折衝力（連携・協働力）	学習指導力（授業力）	学校運営力・組織貢献力（マネジメント力）
○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。	・児童・生徒と信頼関係を構築して、授業、学級での規律を確立できる。 ・生活指導上の問題に直面した際、他の教員に相談しながら解決できる。 ・児童・生徒の状況に応じたキャリア教育の計画を立てることができる。	・課題に応じて保護者や地域、外部機関と連携を図り、学年主任の助言に基づいて、解決に向けて取り組むことができる。 ・保護者会等の進め方を理解し、保護者に伝える内容を整理するとともに信頼関係を構築することができる。	・学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成及び学習指導を行うことができる。 ・児童・生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた指導ができる。 ・主体的な学習を促すことができる。 ・学習状況を適切に評価し、授業を進めることができる。 ・授業を振り返り、改善できる。	・組織の一員として校務に積極的に参画できる。 ・上司や先輩へ適切に報告・連絡・相談するなど、円滑なコミュニケーションを図り校務を遂行できる。

※東京都が掲げる教員としての資質の向上に関する指標を引用

ステージ	目的	講座名	養成すべき4つの力			
			人間性	社会性	専門性	国際性
ファーストステージ	資質・能力を理解し、今後教職を学ぶための基盤を固める	基礎セミナー		○	●	
		Global Café				●
		合格者座談会			●	
		教育ボランティア	●	●	○	
		模擬試験（解説付）			●	
セカンドステージ	教育現場の課題を理解し、解決できる能力の基盤を構築する	分野別セミナー（専門教養Ⅰ）			●	
		教員採用試験説明会	○			
		教員個別指導	○	●	○	
		同窓会連携学習会		○	●	
		分野別セミナー（教職教養）			●	
		分野別セミナー（小学校全科）			●	
		模擬試験			●	
		自治体による教員養成	●	●		
サードステージ	専門的な知識を学び、教育現場に活用できる能力を身に付ける	教員養成合宿	●	●	○	
		日体教学舎	●	●	●	○
		習熟度確認講座	○	●	●	
		分野別セミナー（専門教養Ⅱ）			●	
		実践セミナー		○	●	
		教員採用試験二次試験対策講座	●	●	●	●

※2019年3月15日（金）時点で教職センターに報告された情報に基づき作成しています。

平成30年度

【山梨県】
《小学校》1名

【新潟県】
《小学校》2名

【石川県】
《中学校・高校》1名

【岐阜県】
《高校》1名

【三重県】
《中学校》1名

【大阪府】
《小学校》1名

【島根県】
《中学校》1名

【香川県】
《小学校》1名

【私立】
《小学校》1名
《中学校・高校》5名
《高校》8名
《養護》1名

全国に広がる日体大のネットワーク (日体ファミリー・自治体連携紹介)

グローバルとローカル。持続可能な社会の構築にはこの2つの視点が必要です。

全国に展開する学校法人日本体育大学の各校、そして自治体との連携を深め、いっそうの社会貢献に挑みます。



日本体育大学荏原高等学校

建学の精神・校訓	知・徳・体 求めて学び・耐えて鍛え・学びて之を活かす
設立	1904 (明治37) 年
所在地	〒146-8588 東京都大田区池上8-26-1 TEL 03-3759-3291
URL	http://www.nittai-ebara.jp



日本体育大学附属高等支援学校

建学の精神・校訓	體育富強之基、正しく明るく仲良く
設立	2017 (平成29) 年
所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲1-6-1 TEL 0152-67-9141
URL	http://s-nittai.ed.jp



日本体育大学柏高等学校

建学の精神・校訓	健康と信用は最高の宝
設立	1960 (昭和35) 年
所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張944 TEL 04-7167-1301
URL	https://k-nittai.ed.jp



日本体育大学

建学の精神・校訓	體育富強之基
設立	1891 (明治24) 年
所在地	東京・世田谷キャンパス 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL 03-5706-0900 (代表) 横浜・健志台キャンパス 〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鶴志田町 1221-1 TEL 045-963-7900 (代表)
URL	https://www.nittai.ac.jp

■連携自治体一覧

自治体名	締結日
美作市 (岡山県)	平成26年12月1日
愛知県	平成26年12月2日
紀の川市 (和歌山県)	平成27年2月12日
泉佐野市 (大阪府)	平成27年2月12日
北山村 (和歌山県)	平成27年2月23日
小菅村 (山梨県)	平成27年2月26日
網走市 (北海道)	平成27年3月21日
江南市 (愛知県)	平成27年3月27日
駒ヶ根市 (長野県)	平成27年5月14日
七尾市 (石川県)	平成27年5月21日
志賀町 (石川県)	平成27年5月22日
島原市 (長崎県)	平成27年6月1日
中間市 (福岡県)	平成27年6月15日
氷見市 (富山県)	平成27年7月3日
神崎町 (千葉県)	平成27年7月6日
上越市 (新潟県)	平成27年7月13日
大山崎町 (京都府)	平成27年7月24日
勝山市 (福井県)	平成27年8月3日
呉市 (広島県)	平成27年8月27日
柳井市 (山口県)	平成27年9月3日
阿南市 (徳島県)	平成27年10月1日
中標津町 (北海道)	平成27年10月5日
三種町 (秋田県)	平成27年10月25日
みなべ町 (和歌山県)	平成27年10月27日
守山市 (滋賀県)	平成27年10月30日
厚木市 (神奈川県)	平成27年11月4日
南魚沼市 (新潟県)	平成27年12月7日
海士町 (島根県)	平成27年12月21日
男鹿市 (秋田県)	平成28年2月23日
可児市 (岐阜県)	平成28年2月29日
東松島市 (宮城県)	平成28年3月24日
小田原市 (神奈川県)	平成28年3月25日
香美町 (兵庫県)	平成28年3月28日
徳之島町 (鹿児島県)	平成28年4月13日
岩国市 (山口県)	平成28年4月27日
岩美町 (鳥取県)	平成28年6月27日
品川区 (東京都)	平成28年6月29日
笠間市 (茨城県)	平成28年7月11日
狭山市 (埼玉県)	平成28年7月25日
中山町 (山形県)	平成28年8月29日
別府市 (大分県)	平成28年9月6日
宮古市 (岩手県)	平成28年10月17日
始良市 (鹿児島県)	平成28年10月31日
桶川市 (埼玉県)	平成28年11月30日
常総市 (茨城県)	平成29年1月26日
大子町 (茨城県)	平成29年1月26日
藤井寺市 (大阪府)	平成29年2月9日
都城市 (宮崎県)	平成29年5月19日
市川三郷町 (山梨県)	平成29年12月19日
北杜市 (山梨県)	平成30年1月23日
米沢市 (山形県)	平成30年3月20日
三重県 (地域連携部)	平成30年9月11日
新潟県	平成30年9月19日
鳥羽市 (三重県)	平成30年9月25日
当別町 (北海道)	平成30年11月5日
東根市 (山形県)	平成30年12月7日
北部広域市町村圏事務組合 (沖縄県)	平成30年12月15日
戸田市 (埼玉県)	平成30年12月17日
須崎市 (高知県)	平成31年1月17日
中土佐町 (高知県)	平成31年1月17日
沼津市 (静岡県)	平成31年1月21日
東村山市 (東京都)	平成31年1月25日
幕別町 (北海道)	平成31年1月29日
下呂市 (岐阜県)	平成31年2月4日
安芸高田市 (広島県)	平成31年3月27日

計65自治体 (平成31年3月27日現在)



日本体育大学医療専門学校

建学の精神・校訓	生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と 仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する。
設立	1973 (昭和48) 年
所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-2-7 TEL 03-5717-6161
URL	http://www.nittai-iryo.ac.jp



日本体育大学桜華高等学校

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1958 (昭和33) 年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp



日本体育大学桜華中学校

建学の精神・校訓	健康・努力・敬愛
設立	1994 (平成6) 年
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-5-1 TEL 042-391-4133
URL	http://www.ohka.ed.jp



浜松日体高等学校

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	1962 (昭和37) 年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山3-30-1 TEL 053-434-0632
URL	http://www.h-nittai.ed.jp



浜松日体中学校

建学の精神・校訓	積志力行・清節篤行
設立	2002 (平成14) 年
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山3-30-1 TEL 053-434-0632
URL	http://www.h-nittai.ed.jp



日体幼稚園

建学の精神・校訓	健康第一主義の教育を通して 豊かな人間性を形成する
設立	1955 (昭和30) 年
所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢8-4-1 TEL 03-3701-4450
URL	http://www.nittai-kindergarten.ed.jp

※各校情報 (平成30年3月27日現在)

【学長・副学長・IRE室長】

学 長	具 志 堅 幸 司
副学長 (企画・管理・運営担当)	松 井 幸 嗣
副学長 (教学・学生生活担当)	笠 井 里 津 子
I R E室長	荻 浩 三

【大学院・学部】

【附置機関】

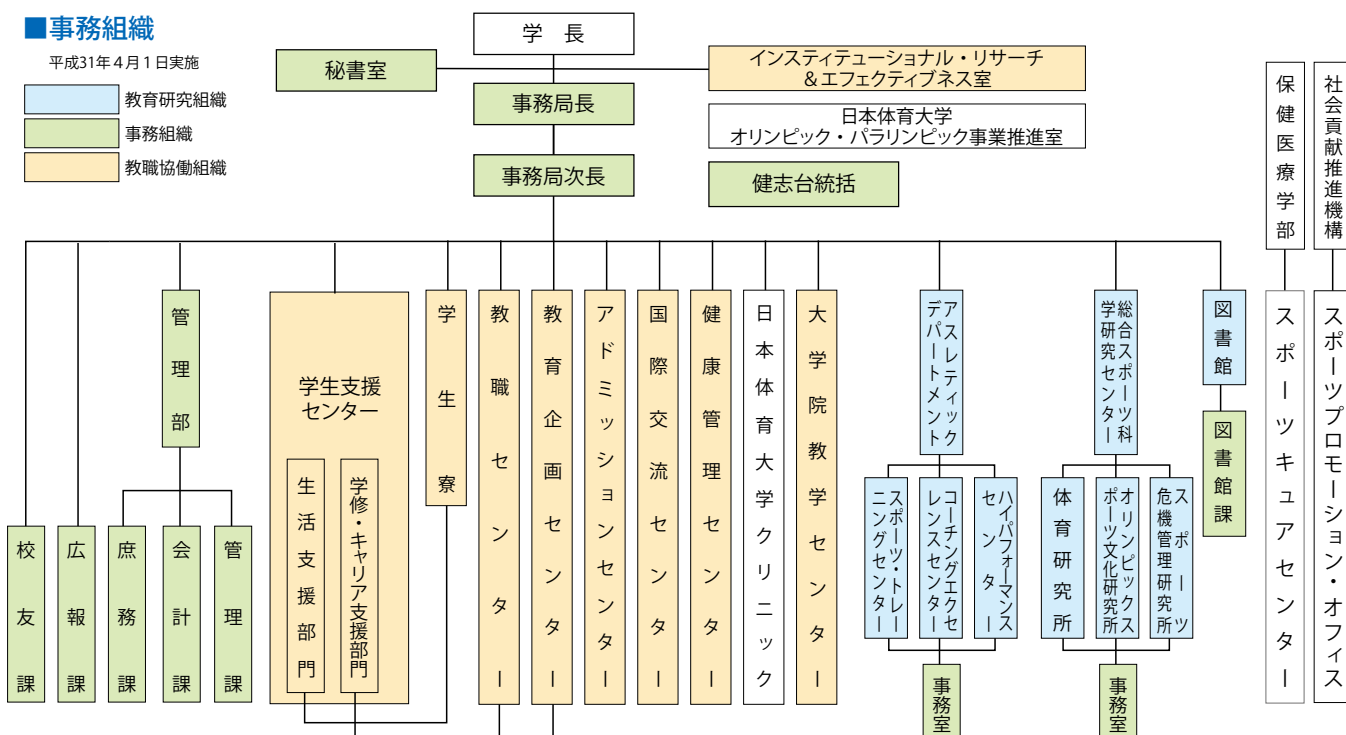
研究科長代表	阿江 通良(兼)
体育科学研究科長	阿 江 通 良
教育学研究科長	角 屋 重 樹
保健医療学研究科長	平沼 憲治(兼)
体育学部長	水 野 増 彦
体育学科長	杉 田 正 明
健康学科長	鈴 川 一 宏
(武道学科長)	(齋 藤 一 雄)
(社会体育学科長)	(依 田 充 代)
スポーツ文化学部長	八 木 沢 誠
武道教育学科長	齋 藤 一 雄
スポーツ国際学科長	金 田 英 子
スポーツマネジメント学部長	石 井 隆 憲
スポーツマネジメント学科長	日 比 野 幹 生
スポーツライフマネジメント学科長	依 田 充 代
児童スポーツ教育学部長	近 藤 智 靖
児童スポーツ教育学科長	中 島 龍 一
児童スポーツ教育コース主任	稲 田 結 美
幼児教育保育コース主任	若 尾 良 徳
保健医療学部長	平 沼 憲 治
整復医療学科長	久 保 山 和 彦
救急医療学科長	小 川 理 郎
スポーツキュアセンター院長 〔保健医療学部附属接骨院〕	伊 藤 譲

図書館長	三 好 仁 司
学生支援センター長	横 山 順 一
副センター長	須 永 美 歌 子
学修・キャリア支援部門長	須永美歌子(兼)
副センター長	大 石 健 二
生活支援部門長	大石 健二(兼)
教職センター長	後 藤 彰
アドミッションセンター長	小 林 正 利
副センター長	忠 政 明 彦
大学院教学センター長	阿江 通良(兼)
教育企画センター長	荻 浩 三 (兼)
副センター長	半 田 勝 久
総合スポーツ科学研究センター	野 井 真 吾
体育研究所長	中 里 浩 一
オリンピックスポーツ文化研究所	関 根 正 美
スポーツ危機管理研究所長	野井 真吾(兼)
副所長	南 部 さ お り
アスレティックデパートメント長	山 本 博
アスレティックデパートメント長補佐	岡 本 孝 信
ハイパフォーマンスセンター長	大 本 洋 嗣
コーチングエクセレンスセンター長	伊 藤 雅 充
スポーツ・トレーニングセンター長	西 山 哲 成
国際交流センター長	荒 木 達 雄
健康管理センター長	平沼 憲治(兼)
日本体育大学クリニック院長	平沼 憲治(兼)
寮監長	根 本 研

※2019年4月1日 現在

■事務組織

平成31年4月1日実施



■平成31年度 入学試験結果

■日本体育大学 体育学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
体 育 学 科	A O	420	(162)	416	(160)	164	(87)	2.54
	推 薦	600	(181)	600	(181)	439	(132)	1.37
	一 般	2,093	(501)	2,010	(484)	237	(61)	8.48
	特 別	10	(2)	10	(2)	9	(2)	1.11
	合 計	3,123	(846)	3,036	(827)	849	(282)	3.58
健 康 学 科	A O	72	(44)	72	(44)	29	(22)	2.48
	推 薦	52	(37)	52	(37)	40	(30)	1.30
	一 般	605	(205)	585	(201)	200	(72)	2.93
	特 別	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.00
	合 計	730	(287)	710	(283)	270	(125)	2.63
合 計	A O	492	(206)	488	(204)	193	(109)	2.53
	推 薦	652	(218)	652	(218)	479	(162)	1.36
	一 般	2,698	(706)	2,595	(685)	437	(133)	5.94
	特 別	11	(3)	11	(3)	10	(3)	1.10
	合 計	3,853	(1,133)	3,746	(1,110)	1,119	(407)	3.35

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期・後期、センター試験利用入試前期・後期

※特別入試内訳：帰国生入試、外国人留学生入試、リカレント入試、飛び入学入試、国際バカロレア (IB) 資格入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 スポーツマネジメント学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
ス ポ ー ツ マネジメント学科	A O	164	(55)	163	(54)	43	(18)	3.79
	推 薦	73	(27)	73	(27)	43	(13)	1.70
	一 般	899	(233)	867	(226)	117	(41)	7.41
	特 別	3	(1)	3	(1)	2	(0)	1.50
	合 計	1,139	(316)	1,106	(308)	205	(72)	5.40
スポーツライフ マネジメント学科	A O	80	(36)	80	(36)	30	(16)	2.67
	推 薦	66	(25)	66	(25)	26	(10)	2.54
	一 般	799	(220)	769	(213)	113	(44)	6.81
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	945	(281)	915	(274)	169	(70)	5.41
合 計	A O	244	(91)	243	(90)	73	(34)	3.33
	推 薦	139	(52)	139	(52)	69	(23)	2.01
	一 般	1,698	(453)	1,636	(439)	230	(85)	7.11
	特 別	3	(1)	3	(1)	2	(0)	1.50
	合 計	2,084	(597)	2,021	(582)	374	(142)	5.40

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期・後期、センター試験利用入試前期・後期

※特別入試内訳：帰国生入試、外国人留学生入試、リカレント入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 保健医療学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
整復医療学科	A O	103	(41)	103	(41)	52	(27)	1.98
	推 薦	63	(22)	63	(22)	32	(17)	1.97
	一 般	62	(12)	59	(11)	20	(7)	2.95
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	228	(75)	225	(74)	104	(51)	2.16
救急医療学科	A O	68	(13)	68	(13)	46	(11)	1.48
	推 薦	67	(7)	67	(7)	26	(4)	2.58
	一 般	113	(8)	99	(8)	20	(4)	4.95
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	248	(28)	234	(28)	92	(19)	2.54
合 計	A O	171	(54)	171	(54)	98	(38)	1.74
	推 薦	130	(29)	130	(29)	58	(21)	2.24
	一 般	175	(20)	158	(19)	40	(11)	3.95
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	476	(103)	459	(102)	196	(70)	2.34

※AO入試内訳：学科AO入試、併設校AO入試

※一般入試内訳：一般入試前期・後期、センター試験利用入試前期・後期

※特別入試内訳：帰国生入試、リカレント入試、国際バカロレア (IB) 資格入試、英語外部資格入試

■日本体育大学大学院 体育科学研究科 コーチング学専攻

博士前期課程			博士後期課程		
志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
23 (5)	22 (4)	13 (4)	8 (2)	8 (2)	6 (2)

■日本体育大学大学院 教育学研究科

博士前期課程			博士後期課程		
志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
8 (3)	8 (3)	7 (2)	10 (2)	9 (2)	9 (2)

■日本体育大学 スポーツ文化学部

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
武 道 教 育 学 科	A O	62	(20)	62	(20)	45	(14)	1.38
	推 薦	45	(14)	45	(14)	44	(13)	1.02
	一 般	54	(6)	47	(5)	24	(2)	1.96
	特 別	1	(0)	1	(0)	1	(0)	1.00
	合 計	162	(40)	155	(39)	114	(29)	1.36
スポーツ国際学科	A O	73	(31)	73	(31)	34	(17)	2.15
	推 薦	42	(13)	42	(13)	23	(9)	1.83
	一 般	545	(143)	528	(137)	109	(28)	4.84
	特 別	2	(0)	2	(0)	1	(0)	2.00
	合 計	662	(187)	645	(181)	167	(54)	3.86
合 計	A O	135	(51)	135	(51)	79	(31)	1.71
	推 薦	87	(27)	87	(27)	67	(22)	1.30
	一 般	599	(149)	575	(142)	133	(30)	4.32
	特 別	3	(0)	3	(0)	2	(0)	1.50
	合 計	824	(227)	800	(220)	281	(83)	2.85

※AO入試内訳：トップアスリートAO入試Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期、学科AO入試、併設校AO入試

※推薦入試内訳：推薦入試Ⅰ期、推薦入試Ⅱ期

※一般入試内訳：一般入試前期・後期、センター試験利用入試前期・後期

※特別入試内訳：帰国生入試、外国人留学生入試、リカレント入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科

区分		志願者数		受験者数		合格者数		倍率
児 童 ス ポ ー ツ 教 育 コ ー ス	A O	75	(46)	74	(45)	28	(20)	2.64
	推 薦	75	(40)	75	(40)	59	(36)	1.27
	一 般	427	(147)	405	(140)	136	(51)	2.98
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	577	(233)	554	(225)	223	(107)	2.48
幼 児 教 育 保 育 コ ー ス	A O	37	(34)	37	(34)	13	(13)	2.85
	推 薦	36	(32)	36	(32)	28	(25)	1.29
	一 般	40	(28)	39	(28)	15	(11)	2.60
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	113	(94)	112	(94)	56	(49)	2.00
合 計	A O	112	(80)	111	(79)	41	(33)	2.71
	推 薦	111	(72)	111	(72)	87	(61)	1.28
	一 般	467	(175)	444	(168)	151	(62)	2.94
	特 別	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
	合 計	690	(327)	666	(319)	279	(156)	2.39

※AO入試内訳：学科AO入試、併設校AO入試

※一般入試内訳：一般入試前期・後期、センター試験利用入試前期・後期

※特別入試内訳：帰国生入試、リカレント入試、国際バカロレア (IB) 資格入試、英語外部資格入試

■日本体育大学 体育学部 編入学

志願者数	受験者数	合格者数
15 (6)	11 (3)	11 (3)

※児童スポーツ教育学部、保健医療学部は出願なし

■日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻

区分	博士前期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	1 (0)	1 (0)	1 (0)
トレーニング科学系	18 (8)	18 (8)	14 (6)
健康科学・スポーツ医科学系	11 (1)	11 (1)	7 (1)
スポーツ教育・健康教育学系	17 (4)	17 (4)	16 (4)
合 計	47 (13)	47 (13)	38 (11)

区分	博士後期課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
スポーツ文化・社会科学系	6 (3)	6 (3)	4 (1)
トレーニング科学系	6 (3)	6 (3)	5 (2)
健康科学・スポーツ医科学系	1 (1)	1 (1)	1 (1)
スポーツ教育・健康教育学系	1 (0)	1 (0)	1 (0)
合 計	14 (7)	14 (7)	11 (4)

■日本体育大学大学院 保健医療学研究科

区分	修士課程		
	志願者数	受験者数	合格者数
高度実践柔道整復師コース	4 (2)	4 (2)	3 (2)
救急災害医療学コース	6 (0)	6 (0)	5 (0)
合 計	10 (2)	10 (2)	8 (2)